

# 平成28年度 伊勢崎市景観まちづくり賞

建築物デザイン部門

まちづくり活動部門

2016  
景観まちづくり賞  
(建築物デザイン部門)  
伊勢崎市

建築物デザイン部門



建物名: 研宗館

■建築主: 公益財団法人 脳血管研究所



●所在地 大手町

■設計者/株式会社 椎名政夫建築設計事務所 ■施工者/北野建設 株式会社

講評

この建物は、構造フレームの力強い独特のフォルム、北側と南側で表情の異なる外観、パールオレンジを基調とした抑制された色彩、などによって華美にならずシンボリックで品格と潤いのある不思議な雰囲気を出しています。また、西棟と東棟とに分かつことによって、見通しを確保するとともに重くなりがちな印象を軽やかにしています。さらにアクセント素材の木部など、外構部にも工夫が見られます。

建物名: 境の家～二世帯のための住まい

■建築主: 石原 眞悟



●所在地 境下武士

■設計者/有限会社 アーキテク・デザイン ■施工者/株式会社 津久井工務店

講評

軒高を抑え庭木や屋敷周りの樹木との一体化を図ったこと、デザインとして養蚕農家の「やぐら」を採用したこと、軒の出が深い切妻の重なりとしたこと、外建具をも含め木製および漆喰仕上げとしたこと、などによって日本家屋の奥ゆかしさを強調しています。また、あえて残した竹林がランドマークになるなど、その外観全体に地域に根ざした住まいへの想いが込められています。

建物名: 高齢者複合施設 銘仙の家

■建築主: 医療法人 原会



●所在地 平和町

■設計者/株式会社 ライブ環境建築設計 ■施工者/佐田建設 株式会社・関東建設工業 株式会社

講評

周辺環境を構成する商業施設、文教施設、住宅などとの調和に景観的基調があります。それは外壁の色調を抑えること、プライバシーを保ちつつもガラス壁面を多用したことなどに現れています。結果それは、閉鎖的になりがちな高齢者施設のイメージを取り払い、内部照明の演出において効果的に働き、開放的で親しみのある印象を創出しています。こうした工夫によって街への融和を実現しています。



**活動名: はたやんちアジサイ園**

■活動者: 新井 厚生・新井 光子



●所在地 境伊与久



**講評** 四季折々の花々で、駅利用者をはじめとする地域の人々の目を楽しませてくれます。また長年にわたる緑化活動は「オープンガーデンいせさき」への参加などへと結ばれています。園内は自由に散策でき、種々の花々を楽しむ工夫が随所で凝らされています。特にアジサイの種類と量には特筆すべきものがあります。その眺めはどのようにも楽しめますが、土手からの眺めが必見です。

**活動名: 「ハーモネートタウン陽光台」町内会街なみ維持活動**

■活動者: 「ハーモネートタウン陽光台」町内会



●所在地 三室町



**講評** 「まちなみルール」を20年にわたり守り続けてきたのは、住民の強い連帯感や一体感の賜です。また、まちづくり活動といえば、とかく緑化に目を奪われがちですが、居住環境全般の維持管理に目を向けた取り組みが見事です。自分の敷地内のみではなく、前面道路や街区公園など町内空間を総体として意識している点が光ります。少子高齢化を迎える今、モデルとなる良き事例です。

**目的**

この賞は、景観まちづくりに対する市民及び事業者の関心を高め、魅力ある本市の景観形成を進める一端として、良好な景観の形成に貢献したと認められる市民、事業者や良好な景観に寄与している建築物、工作物及び屋外広告物のうち、特に優れているものについて、その所有者、設計者又は施工者を表彰するものです。



**募集期間** 平成28年8月1日～10月14日

**選考基準** 建築物デザイン部門

- デザイン性
- 独創性・個性
- 地域景観の創出性
- 周辺景観との調和

まちづくり活動部門

- 独自性
- 継続性
- 地域景観の創出性
- 周辺景観との調和

**選考** 一次審査 伊勢崎市景観まちづくり推進庁内検討委員会

二次審査 伊勢崎市景観審議会

**応募総数** 14件

**講評** 伊勢崎市景観審議会

会長 小林 享 (前橋工科大学 教授)